

あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会構成メンバー

有識者 (敬称略)	南山大学経済学部教授	岸 智子【座長】
	椋山女学園大学人間関係学部教授	小倉 祥子
	NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事 社会保険労務士	横井 寿史
労働団体	日本労働組合総連合会愛知県連合会	
経済団体	愛知県商工会議所連合会	
	愛知県経営者協会	
	愛知県中小企業団体中央会	
	愛知県商工会連合会	
行政機関等	愛知労働局	
	名古屋市	
	公益財団法人愛知県労働協会	
	愛知県	

(2026年3月時点)

協議会が果たすべき役割

- 協議会は、ワーク・ライフ・バランス実現に向けて、職場環境の整備促進と社会全体の気運醸成に取り組む。
- 職場環境の整備に向けては、企業等が自主的に取り組むことを基本としつつ、経済団体、労働団体等が傘下の企業や労働組合等を支援するほか、行政機関も含めた協議会が中心となり、地域全体で取組を進める。
- 社会全体の気運を醸成するため、協議会構成員はそれぞれの役割を果たすとともに、企業が具体的な取組に踏み出せるよう、相互に連携・協働して支援を行う。
- 特に、本県企業の大部分を占める中小企業に対し、積極的な働きかけを行う。



発行：2026年3月

あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会

(事務局)

愛知県労働局労働福祉課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 052-954-6360 (ダイヤルイン)
URL <http://www.pref.aichi.jp/rodofukushi/>

計画全体
はこちら



《 計画策定の趣旨 》

本県ではワーク・ライフ・バランス実現のため「ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を設置し、2021年3月に策定した行動計画の目標達成に向けて、官民一体となって取り組んできました。

この間、働き方の見直しが進められるなど、一定程度の成果が見られていますが、本県のフルタイム労働者の労働時間は、依然として全国平均を上回っています。また、働く人の価値観や生活スタイルも変化しており、多様な働き方の推進が求められています。

こうした状況を踏まえ、行政機関、労働団体、経済団体等が一体となって、地域全体でワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組を更に推進するため、「あいちワーク・ライフ・バランス行動計画2026-2030」を策定します。

《 計画の目標 》

誰もが、多様で柔軟な働き方を選択しながら安心して働き続けられる環境の整備を推進します。これにより仕事のやりがいと生活の充実の好循環を生み出すことにより、幸せを実感できる持続可能な社会の実現を目指します。

《 計画期間 》

2026年度から
2030年度まで

到達目標

一般労働者の年間総実労働時間数(所定外労働時間数)：1,950(167)時間を下回る

行動①…誰もが生き生きと働ける環境をつくります

現状と課題

- 一般労働者の年間総実労働時間は、この5年間で減少傾向にあるものの、全国平均を上回っており高い水準が続いている。
- 労災支給決定件数のうち脳・心臓疾患に関するものや精神障害に関するものが、全国の中でも高い水準となっている。
- 各種ハラスメントの相談を受けたことがある企業は全国的に増加している。

具体的な取組

- 【長時間労働の見直し(時間外勤務の削減・年休の取得促進・労働生産性の向上)】
- 「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」の普及拡大
- 働き方改革や、勤務間インターバル制度に関するセミナー等の開催
- 【メンタルヘルス対策など従業員の健康の維持・向上】
- 窓口や事業所訪問等による相談・助言等の実施
- 【ハラスメント防止対策】
- あいち労働総合支援フロア「労働相談コーナー」や、「事業者向けカスハラ相談窓口」等における、各種ハラスメントの相談対応

進捗管理指標

指標名	数値目標(2030年度)
労働時間の短縮に向けた取組を実施している企業の割合	69%
勤務間インターバル制度の導入事業所割合	15%
年次有給休暇取得率	75%
メンタルヘルス対策実施事業所割合	80%
ハラスメント防止対策実施事業所割合	85%

行動②…一人ひとりの多様な働き方を支援します

現状と課題

- 働く人の価値観やニーズが多様化する中、働きやすい勤務形態として「フレックスタイム制」、「テレワーク(在宅勤務)」を挙げる人が多いが、従業員規模が小さいほど県内企業の導入割合が低い傾向がある。
- 女性の正規雇用比率は25~29歳をピークに低下し、その後も上昇しない「L字カーブ」が新たな課題となっている。

具体的な取組

- 【多様で柔軟な働き方の推進】
- 多様な働き方に関する制度内容等をセミナーやWebサイト等において周知啓発
- 【両立支援(育児・介護・治療・不妊治療)】
- 育児・介護休業や治療・不妊治療のための休暇制度の整備等や利用促進に向け、事業所訪問による相談対応や専門家派遣による伴走型支援等を実施する。
- ママ・ジョブ・あいち等における労働者への相談対応

指標名	数値目標(2030年度)
テレワーク導入事業所割合	15%ポイント増加
フレックスタイム制度の導入事業所割合	5%ポイント増加
短時間勤務制度(育児・介護休業法に基づくものを除く)の導入事業所割合	3.5%ポイント増加
「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」新規登録数	100社/年度
男性の育児休業取得率	85%
ダブルケアをしている従業員の実態把握をしている企業の割合	40%ポイント増加

行動③…ワーク・ライフ・バランスの実現に向かう気運を盛り上げます

現状と課題

- 依然として固定的な性別役割分担の意識が残っている。
- 「仕事」と「生活」に対する関わり方の希望と現実には、未だに大きな隔りがある。

具体的な取組

- 【社会全体の理解促進、企業の先進的な取組を評価・顕彰・周知】
- 経営者や学生等へ性別役割分担意識の解消に向けた講座等の実施
- 「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の展開等、地域全体の気運醸成

指標名	数値目標(2030年度)
「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の賛同事業所数	延べ48,000事業所/年度
「愛知県休み方改革マイスター企業」新規ゴールド認定企業数	3社/年度
「プラチナくるみん」新規認定企業数	5社/年度
「あいち女性輝きカンパニー」認証企業数	2,500社(累計)